

vol.2 「SchIT Blog について」

今回は、『学校ホームページに関するアンケート』にご協力いただきましたさくら市立上松山小学校の小堀校長先生に、運用状況やアンケートの結果を受けての今後についてお聞きしました。

——小堀校長先生が上松山小学校に来られたのは

今年の4月1日着任ですね。

——前任校のときに「学校ホームページ」を始められたとお聞きしましたが

前任校の熟田小学校の時に情報発信をする方法がないかと思っていたところ、たまたま、ユーキャンさんに某町の小中学校のホームページ（CMSを使用したブログ形式）を見せてもらったのがきっかけです。それまではずっとホームページというものに疑問を持っていました。

——疑問とは？

ホームページビルダーって、面倒くさいじゃないですか。いいものだけど、（専門知識が必要だから）更新している時間がないなと思って。そんな時に、某町のホームページを見せてもらって、いいなと思った点が二つあった。一つは、簡単そうだなと思った部分。もう一つは、ちょうどその時「食育」に取り組んでいたんで、ある学校の給食の記事を見たときに「これだ！」と思った。要するに子ども達が食べた物って保護者は知らないでしょ。何を食べて、それがどんな感じなのかわからない。これだったらブログ形式で毎日ネタがあるなと思って。ブログが一番かっこ悪いのは、最新の情報が4か月前とかだから（笑）。



——最初使っていたホームページビルダーと比べて、現在のCMSは

どうですか？

はっきり言えば「変更のない部分や出来ない部分はやらなくていい」と思っていて、できる人がやるべきだと。そこは、予算があるのだったら（業者に）任せたいほうがいいと。だけど、（ブログ形式のHPだと）毎日更新する部分については自分たちが簡単にできて、すぐにアップできる形にしたほうがいいと思って。そうするとCMSが一番いいなと。それから、携帯電話からのアクセスが可能だって聞いたときに「これだな」と思いました。なぜかという、ADSL回線でアクセスしようとするとうるさく遅くて。

——校長先生が考える学校ホームページの位置づけや、一番の目的は何でしょうか？

学校で一体何があるのかなっていうのに対し、「今日はこんな活動がありました。こんな給食ができました。」と、情報発信できたらいいなって。一番は、保護者の方に学校のことを知っていただくことですね。

——ブログに関して、先生方のご負担はありますか？

無いんじゃないかな。まえて自分たちがやるって設定じゃないから。ほとんど私が取材、作成するので。先生方には表現を見てもらうのだけど、アップする前に「ねえねえ、こんな記事書いたんだけどどうかな」とか「どんな記事書いてほしい？」とか。あと先生方から（記事の）キャッチコピーを出してもらって「あ、それいただき！」って書いたり。やってほしいのは写真撮るくらいで、私が（取材に）行けないときは写真を撮ってもらって。

——校長先生がやれない時、先生方に負担感を持たせないようにしているのですね。

そうですね。今みたいに負担感を感じさせないで、例えば記事が書ける人がいて、更新は出来る人がやればいいと思っています。

——やはり複数の人ができる、というのが大切ですね。理想の運用体制はありますか？

現在の運用体制は、先生方が私の携帯電話に送ってくる記事はダイレクトな言葉なのでそのまま転送という形でアップしています。パソコンからアップする記事は、短めのコメントを付箋に書いてもらい、私が記事を作成、アップしています。一応、（私が）管理者権限をもっているんで、許可をしたってことで。理想をいえば、先生方にはどんどん記事を作ってほしい。しかし、残念ながらブログという性格上、先生方におまかせしてしまうとタイムリーではなくなる。タイムリーにしたいのであれば編集作業はやはりできる人がやっていったほうがいいなと思っています。私がいつも言っているのは「誰でもできる。優しい手順でできる」というのがポイントだから。

—（ホームページを始めて）先生方に変化はありましたか？

ありましたね。先生の方から「授業公開しますから来てください」とか、要するに私を利用してこの授業を発信したいという教員も出てきて。まだ更新してないのですが、「古典で習った狂言を実際にやってみる」って授業があって、面白いですよ。小物はつけないんだけど、独特の言い回しをしたりね。

先日も、先生方は携帯電話を使って校外学習の記事の更新をしてくるのだけど、慣れてくるとね、とらえ方がいいわけ。

「いい表情掴んでるな」とか。「4年生全部の活動が終了しました」というバスの中で寝ている写真を撮ったり、先生の優しさが伝わってきますね。「良くやったな」という先生の気持ちが写真を通して伝わってくる、だから担任の気持ちもわかるし、それを見た親御さんはもっと嬉しいだろうなと思います。



—（ホームページを始めて）子どもや保護者の方に変化はありましたか？

子ども達は家で言っているそうです。「今日校長先生来たから、ブログ見て」、「たぶん更新するかもしれない。写真撮ってたから」として（笑）

保護者の方からは「みてますよ」とか「あんなのでも取材してくれるんですか？」とか。かなり反響がありました。

あと、スポーツ応援。顔を出すと「忙しいのにわざわざ来てくださったんですか？」とか言われますが、半分取材なんですよ（笑）。

まあ、もちろん子どもたちの応援がメインですが。前任校の時の話ですが、子どもが「校長先生ってどんな人？」って聞かれたときに「カメラ持ってる人」として（笑）

—（アンケート結果にもあるように）親子で会話をするいいきっかけですよ。

—アンケート結果で、回答数の25%が、学校ホームページを「見たことがない（知らなかった）」という結果がでました。これについてはどう思われますか？

そこに見えない数字（未回答数）が、4割います。だから、こういう機会がないと見えない人を開拓できない。これを機に、ホームページを見て「ああ面白いんだな」と思ってくれば広がって行くと思いますが、口コミは限定されていきます。口コミは仲間うちでは広がって行くけど、それに属していない人には情報が入ってこない。横の連携がない時代だから学校がその情報の中心になっていかないと考えると、ただ「ブログ更新しました」、「こんな記事書いてます」と言っても、それを伝えるためのペーパーがないと保護者には伝わらない。配布しても、ポンと捨てちゃう人もいると思う。興味のない人をどれだけ拾っていけるかなと。だから、機会あるごとにこういうことやっているって広めていくしかないのかなって思いますね。CMは必要。せっかく意図的にやっているのだからそういう努力をしていかなきゃいけない。



—最後に、校長先生が日頃から心がけていることや、感じていることをお聞かせください

（立場上）教職員評価制度で担任とは面談をするのですが、上松山小のスタッフはみんな前向きです。先日も、集会をユーストリームでやったり（笑）。私はコンピュータの技術が全然ないけど、頭の中では「こうしたい、ああしたい」がいっぱいあるんです。校長の役目ってというのは、プロデューサーと同じで、「こんなことしたいんだけど」って相談して、それを叶えてくれる人たち、教頭先生がいたり、金銭面で相談したい時は事務長さんがいたり、先生たちを動かす教務さんがいて、子どもを動かす担任の先生がいて。この辺がポンポンと動いていくと、学校って職場としてすごく楽しいんですよ。だから今、上松山小が一番楽しい、一番楽しんでるのは自分だと思えます（笑）

小堀校長先生の子どもたちや先生に対する愛情をいっぱい感じたインタビューでした。印象に残った校長先生の言葉は「校長の役目ってというのは、プロデューサーと同じ。」でした。

子どもや先生が目をきらきらと輝かせているのが目に浮かぶようでした。先生方に負担感を感じさせずに自然と運営されているノウハウは他の学校でもとても参考になると思いました。

上松山小学校データ

所在地：栃木県さくら市氏家3496

在籍者数：404名（H23.4）

その他：今年度から本格的にHPの活用が始まり、約4か月間の月平均アクセス数は1,600件になった。

URL：<http://schit.net/sakura/eskamimatsuyama/>